

琉球大学学術リポジトリ

心理アセスメントとしての自画像対面法の活用可能性の検討：不登校生徒の3事例研究をとおして

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教職センター 公開日: 2020-04-07 キーワード (Ja): 自画像対面法, 構造化されたPDI, 不登校, 自己理解 キーワード (En): 作成者: 平田, 幹夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/45495

心理アセスメントとしての自画像対面法の活用可能性の検討

－不登校生徒の3事例研究をとおして－

平田幹夫*

The Examination of the Use Possibility of the Way that a Self-Portrait Meeting Interview : 3 Case Studies of the School Refusal

Mikio HIRATA*

本研究では、生徒が描いた自画像の顔の部位に視点を当てた自画像対面法における構造化されたPDIによって、生徒が自画像全体から感じることで、そして、目、眉、髪の毛、耳の各部位の左右においては、好きな部位があることが示された。そして、生徒は各々の部位の好きな部位からはポジティブ感情をイメージし、もう一方（好きではない）の部位からはネガティブ感情をイメージすることが示され、生徒自身の自己理解を深めることにつながっていることが伺えた。特にネガティブ感情をイメージする部位においては、不登校の原因等と関連している可能性があることが明らかになった。

キーワード：自画像対面法、構造化されたPDI、不登校、自己理解

背景と目的

学校現場では、いじめや不登校などの様々な教育課題がある。文部科学省(2019)の調査によると、平30年度の小・中学校における、いじめ認知件数は523,548件(前年度397,545件)、不登校児童生徒数は164,528人(前年度144,031人)となり、いずれも前年度より増加傾向にある。いじめや不登校問題等の生徒指導上の教育課題を解決するために、各学校にスクールカウンセラー・教育相談員(以後:Co)等が配置され学級担任等と連携し取り組んでいる。

効果的な連携を行うためには、児童生徒への面談及び心理テスト等による適切な心理アセスメントが重要である。自己主張や自己表現がうまくできない児童生徒への心理アセスメントとして幼児期から慣れ親しんできた描画テストがある。描画テストではクライアント(以後:CI)のパーソナリティの比較的深層にある心理的外傷となる過去の経験や、本人が意識の上では認めたくない否定的な感情を表すこともあり、よりCIを深く理解できる(高橋,2007)。描画テストの中でも人物画テストは心理アセスメントの一つとして多く活用されている(小川・田邊・伊藤,1997)。

描画テストでは、描いた人が気づかない心の内容が非言語的に表現されるので、CIが気づかなかった無意識の心の状態を知ることは自己理解(洞察)に繋がり、その結果心理療法の手段となることもある(高橋,2012)。人物画テストは臨床家に判断材料として多くを語り、提供するテストは他に類がない。ただし、どれだけの事実を意味深い情報として受け取れるかは、テスト施行者の経験の有無が決定する(深田,1986)。そのことが描画テスト実施における課題でもある。そこで、平田・比嘉(2012)は、人物描画の表情を解釈し易くするために、4つの感情(「楽しい・うれしい」「かなしい」「おこっている」「がまんしている」)に対して児童がどのように「眉」・「目」

* 琉球大学教職センター

・「口」を描く傾向にあるかを明らかにした。平田・比嘉（2012）や先行研究では、顔の部位である眉・目・耳・髪の毛の左右の各々からイメージされる感情の違いについては検討されていない。また、自画像に関する山田・天野（2002）の先行研究においても、「あなたの自画像を描いてください。できるだけ全身を丁寧に描いてください」という教示を行い、形式分析、内容分析によって解釈を行い、被験者に対して構造化された質問はなされていない。

筆者が6年女児に対して行った自画像対面法によるカウンセリングにおいて「あなたが今描いた自画像の目はどんな表情をしていますか」という質問に対して「右目はなんか怒っている感じがするけど、左目はちょっと優しい目をしている気がする」というこれまでとは異なる答えが返ってきたことが本研究のきっかけである。これまでのCIは、左右の目を無意識に統合して一つの目として捉えて答えていたと考えられる。平田（2008）は、自画像対面法を用いた事例において、自画像の眉、目、耳、髪の毛の左右の部位に対して、児童生徒がイメージする感情にポジティブ感情とネガティブ感情があることを事例で報告している。自画像対面法とは、描画後にセラピストがCIに対して行う質問（Post Drawing Interrogation:PDI）をセラピストとCIが対面しPDIの度に、セラピストがCLに自画像を5秒間程度見せ、CIに自画像の各部位から感じたことを言葉で述べさせたり、絵に描いてもらったりして、CI自身の抱えている問題をCI自身が整理し省察し自己理解を深めていく方法である。その際に筆者が作成した自画像に対する構造化されたPDI（Table 1）を用いて質問を行う。

そこで本研究では、筆者が日本描画テスト・描画療学会第18回大会（2008）において口答発表した事例に1事例を追加し細かく分析を行い、自画像の各部位及び各部位の左右（左右の目、左右の眉、左右の髪毛、左右の耳）によって、ポジティブ感情とネガティブ感情があり、ネガティブ感情はCIの抱えている課題と関連があることを明らかにする。また、描画対面法を通してCIが自己理解を深め自らの課題に対して、何らかの方向性を導き出すのでないかを検討する。

自画像対面法の実施方法

① CIに自画像（顔だけ）を所定の黒ボールペンで描かせる。ボールペンを使用するのは消せないようにするためである。多くの描画テストにおいては、鉛筆を使用し消しゴムで修正ができるようにしているが、筆者が行う描画テストにおいては、「最初に描いた描画が描画者の思いが投影されている」と捉え、修正ができないボールペンを使用している。鉛筆を使用する場合には、修正を何度も行う児童生徒が多かったが、ボールペンを使用してからは描き直すことが殆どなくなり描画時間を短くすることができた。

② 自画像を描くときには、髪の毛、眉、目、鼻、口を必ず描くように教示をする。

③「自分は絵が苦手だから自画像は描けない」という児童生徒に対しては、「風景を描きなさい」とか「友だちを描いてみよう」という場合においては、うまいとか下手とかあるけど、自画像に関しては、あなたのことを一番

Table 1 自画像対面法における構造化されたPDI

<p><自画像全体> 2項目</p> <p>Q1: この人はどんな表情をしていますか。</p> <p>Q2: それはこの人のどこから感じますか。</p> <p><目> 8項目</p> <p>Q3: この人の右側の目と左側の目ではどちらが好きですか。</p> <p>Q4: どうしてこの人の 側の目が好きなんですか。</p> <p>Q5: この人の 側の目からは、どんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p>Q6: この人の 側の目はどこを見ているように見えますか。</p> <p>Q7: この人の 側の目が見ている方向には何が見えますか。</p> <p>Q8: この人の反対側の目からどんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p>Q9: この人の反対側の目はどこを見ているように見えますか。</p> <p>Q10: この人の反対側の目が向いている方向には何が見えますか。</p> <p><眉> 4項目</p> <p>Q11: この人の左側の眉と右側の眉ではどちらが好きですか。</p> <p>Q12: どうしてこの人の 側の眉が好きなんですか。</p> <p>Q13: この人の 側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p>Q14: この人の反対側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p><髪> 4項目</p> <p>Q15: この人の顔の真ん中から右側の髪の毛と左側の髪の毛ではどちらが好きですか。</p> <p>Q16: どうして、 側の髪の毛が好きなんですか。</p> <p>Q17: この人の 側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p>Q18: この人の反対側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。</p> <p><耳> 7項目</p> <p>Q19: この人の右側の耳と左側の耳ではどちらが好きですか。</p> <p>Q20: どうしてこの人の 側の耳が好きなんですか。</p> <p>Q21: この人の 側の耳からどんな気持ちの音が聞こえてきそうですか。</p> <p>Q22: この人の 側の耳からは、具体的にどんな音が聞こえてきそうですか。</p> <p>Q23: この人の反対側の耳からどんな気持ちの音が聞こえてきそうですか。</p> <p>Q24: この人の反対側の耳からは、例えば具体的にどんな音が聞こえてきそうですか。</p> <p>Q25: この人の右側の耳と左側の耳では、どちらの耳がよく聞こえると思いますか。</p> <p><口></p> <p>Q26: この人の口からどのようなことを感じますか。</p> <p>Q27: この人は、今、何かを言っています。どんなことを言っているのですか。</p> <p>Q28: この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますか。</p>

知っているのはあなた自身なので、あなたがどんな自画像を描いても、その自画像が世界中で一番うまく描けている絵です。ですからあなたは自画像を描くことができます。自信を持って描いてください」と教示を行い、自画像を描けるように仕向けていくことが重要である。その様な教示の後に、著者がこれまで関わってきた中で自画像を描くことを拒否した子どもは殆どいなかった。



Figure 1 自画像対面法の実施場面

④ 次に Co と Cl が対面して座り (Figure 1), Cl が描いた自画像の用紙を Co が伏せて、「あなたが描いた自画像を『この人は～』と言って 5 秒間見せますので、Co の質問に感じたままに答えてください」という教示を行う。その質問に対して、Cl は声に出して答えると同時に指定された A4 用紙に述べたことを記述する。ケースによっては Co や第 3 者が記述する場合もある。

④ 構造化された PDI の項目数は、全体 (2 項目)、目 (8 項目)、眉 (4 項目)、髪 (4 項目)、耳 (7 項目)、口 (2 項目)、一言 (1 項目) の 28 項目が基本である。但し、ケースによっては、自画像の目、耳の部位に対して補足の PDI (* のついている部分) を行うことは重要である。

1. 事例 1：不定愁訴で学校を休み始めた中 3 女子 (H 子) に対する自画像対面法の実施

主訴：2 学期になって、微熱と身体がだるくなることが度々有り学校を休むことが増えてきた。病院で診てもらったが内科的には特に異常はなかった。家で勉強しようと思うけど、机に向かうことができない。自分で自分の気持ちが整理できない。

(1) 自画像対面法における構造化された PDI の経過

自画像描画：H 子が 15 分で描いた自像 (Figure 2)

<自画像全体>

Q1：この人はどんな表情をしていますか。H 子：笑っている。

Q2：それはこの人のどこから感じますか。H 子：口角が上がっているところ。

<目>

Q3：この人の右側の目と左側の目ではどちらが好きですか。

H 子：右側の目が好き。

Q4：どうしてこの人の右側の目が好きなんですか。

H 子：左側の目に比べて、右側の目には力強さがあるから。

Q5：この人の右側の目からは、どんな気持ちが伝わってきますか。H 子：頑張りたい。

Q6：この人の右側の目はどこを見ているように見えますか。H 子：右下。

Q7：この人の右側の目が見ている方向には何が見えますか。H 子：何も見えない。

Q8：この人の反対側 (左側) の目からどんな気持ちが伝わってきますか。H 子：何もやる気がしない。

Q9：この人の左側の目はどこを見えていますか。H 子：正面下を見ている。

Q10：この人の左目が向いている方向には何が見えますか。H 子：何も見えていない。

<眉>

Q11：この人の左側の眉と右側の眉ではどちらが好きですか。H 子：右側の眉が好き。

Q12：どうしてこの人の右側の眉が好きなんですか。H 子：左側の眉は少しつり上がっているけど、右側の眉は少し丸くなっているから。



Figure 2 自画像

Q13：この人の右側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。H子：落ち着いた気持ち。

Q14：この人の左側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。H子：困っている感じ。

<髪>

Q15：この人の顔の真ん中から右側の髪の毛と左側の髪の毛ではどちらが好きですか。

H子：左側の髪の毛が好き。

Q16：どうして、左側の髪の毛が好きなんですか。

H子：右側の髪の毛は乱れているけど、左側の髪の毛はピン留めで整っている。

Q17：この人の左側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。H子：優しい気持ち。

Q18：どうして左側の髪の毛が好きなんですか。H子：左側の髪の毛は右側に比べて多く描かれている。

Q19：この人の右側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。H子：むかついている。

Q20：それはどこから特に感じますか。H子：右側の髪の毛が雑に描かれているところ。

<耳>

Q21：この人の右側の耳と左側の耳ではどちらが好きですか。H子：左側の耳が好き。

Q22：どうしてこの人の左側の耳が好きなんですか。

H子：右側の耳はとがっているけど、左側の耳は右側に比べて丸みを帯びているから。

Q23：この人の左側の耳からどんな気持ちの音が聞こえてきそうですか。H子：優しい気持ちの音。

Q24：この人の左側の耳からは例えば具体的にどんな音が聞こえてきそうですか。

H子：何もしなくてもいいから休んで、自分のことを心配している。

Q25：この人の右側の耳からどんな気持ちの音が聞こえてきそうですか。

H子：怒られている嫌な気持ちの音。

Q26：この人の右側の耳からは、例えば具体的にどんな音が聞こえてきそうですか。

H子：母親が言っている「早く寝なさい」と言っている。

Q27：この人の右側の耳と左側の耳では、どちらの耳がよく聞こえますか。H子：左側の耳。

<口>

Q28：この人の口からどのようなことを感じますか。H子：何かを我慢している。

Q29：この人は、今、何かを言っています。どんなことを言っているのですか。H子：みんなは、普通に勉強ができて、生活ができて、楽しそう。そう言って本人が涙をぼろぼろと流し始める。

Q30：この人に今、あなたが話しかけるとしたらなんと言いますか。H子：私も同じ気持ちだよ。

(2) 事例1の結果と考察

自画像の全体の表情は、「笑っている」表情と捉えている。好きな右側の目からは力強さを感じ、左側の目からは「やる気がしない」気持ちを感じている。好きな右側の眉からは、「落ち着いた気持ち」を感じ、左側の眉からは「困っている感じ」の気持ちを感じている。好きな左側の髪の毛からは「優しい気持ち」を感じ、右側の髪の毛からは、「むかついている感じ」の気持ちを感じている。好きな左側の耳からは、「何もしなくてもいいから休んで」という自分のことを心配している「優しい気持ちの音」を感じ、右側の耳からは、母親から「早く寝なさい」と怒られている嫌な気持ちを感じている。ポジティブ感情を感じる左側の耳の方がネガティブ感情を感じる右側の耳より、よく聞こえると答えている。口の表情からは、「何かを我慢している」ように感じている。自画像のこの人は、「みんなは、普通に勉強ができて、生活ができて、楽しそう。」と言ってH子が涙をぼろぼろ流したことから、受験勉強がうまくいかない焦りと母親からのプレッシャーがH子の身体症状に表れていることが考えられる。自画像の顔の左右の部位によって、ポジティブ感情を喚起する部位とネガティブ感情を喚起する部位が存在することが示された。H

子は自画像のこの人に「私も同じ気持ちだよ」と話しかけていることから、自画像を客観的に見ていることがわかる。また、自画像対面法のカウンセリングを受けてH子は、「自画像をとおして自分自身に話しかけることで、今までの自分でも気がつかなかった体調不良の原因と学校に行けなくなった原因が、勉強ができないことに対する焦りと高校受験に対する母親からのプレッシャーがあったことに気づいた。何も意識せずに描いた自画像に自分の心の奥にあるものが描かれていることに驚いた。自分自身のことが少しわかった気がした。」と感想を述べている。

2. 事例2：不登傾向にある中1女子（G子）に対する自画像対面法の実施

主訴：仲間から無視され文句を言われている気がする。学校を休みたい気持ちが強くて、不登校になっていく気がして心配。

(1) 自画像対面法における構造化されたPDIの経過

自画像描画：G子が10分で描いた自像（Figure 3）

<自画像全体>

Q1：この人はどんな表情をしていますか。G子：笑っている。

Q2：それはこの人のどこから感じますか。G子：口を大きく開けているところから。

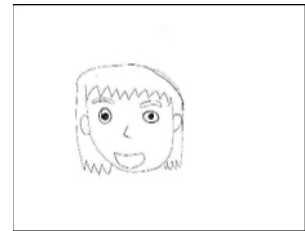


Figure 3 G子の自画像

<目>

Q3：この人の右側の目と左側の目ではどちらが好きですか。G子：右側の目が好き。

Q4：どうしてこの人の右側の目が好きなんですか。G子：左側の目は縦に長くなっているのに比べて、右側の目は丸くなっているから好き。

Q5：この人の右側の目からは、どんな気持ちが伝わってきますか。G子：優しさが伝わってくる。

Q6：この人の右側の目はどこを見ているように見えますか。G子：斜め上を見ている気がする。

Q7：この人の右側の目が見ている方向には何が見えますか。

G子：空が見える。右目の瞳は上を見ている感じだから、未来を見ている気がする。

Q8：この人の反対側（左側）の目からどんな気持ちが伝わってきますか。G子：目を大きく開いていてとても怒っているように感じる。無視されて嫌なこと、友だちがいなくなって寂しいこと、悲しいこと、イライラしている現実を見ている感じ。Q9：この人の左側の目はどこを見えていますか。G子：まっすぐ前を見ている。

Q10：この人の左目が向いている方向には何が見えますか。

G子：ちょっと嫌いな人が見える。

Q11*：この人がちょっと嫌いな人は何名ですか。G子：2名。

Q12*：この人が左目で見ているちょっと嫌いな人を絵で描いてください。

Q13*：この二人のどこが嫌なんですか。G子：人を睨みつけているような眼が嫌。文句とか嫌みを言っている感じがする口が嫌。

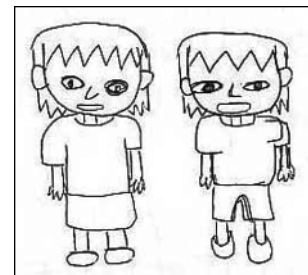


Figure 4 嫌いな二人の友だち

<眉>

Q14：この人の左側の眉と右側の眉ではどちらが好きですか。G子：右側の眉が好き。

Q15：どうしてこの人の右側の眉が好きなんですか。G子：右側の眉は左側の眉より太いから。

Q16：この人の右側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。G子：優しさを感じる。太いけど怖くない感じ。

Q17：この人の左側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。G子：何かちょっと怖い感じ。喧嘩が強い感じ。喧嘩は強くなりたくないけど、自分の気持ちは強くなりたと思って

いる。

<髪>

Q18：この人の顔の真ん中から右側の髪の毛と左側の髪の毛ではどちらが好きですか。

G子：右側の髪の毛が好き。

Q19：どうして、右側の髪の毛が好きなんですか。G子：右耳の側がすっきりした感じだから。

Q20：この人の右側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。G子：楽しい。

Q21：この人の左側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。G子：もやもやとした気持ち。

Q22：それはどこから特に感じますか。G子：眉の上の髪あたり。

<耳>

Q23：この人の右側の耳と左側の耳ではどちらが好きですか。G子：右側の耳が好き。

Q24：どうしてこの人の右側の耳が好きなんですか。G子：綺麗な形をしているから。

Q25：この人の右側の耳からどんな気持ちの音が聞こえてきそうですか。G子：楽しいことや、
いろんな良いこと、自分に「あなたは明るいね」という声などが聞こえてくる。

Q26：この人の左側の耳からはどんな音が聞こえてきそうですか。G子：嫌なことが聞こえてくる。

Q27：この人の左側の耳からは、例えば具体的にどんな音が聞こえてきそうですか。G子：あの人（自分のことを）嫌い。

Q28：この人の右側の耳と左側の耳では、どちらの耳がよく聞こえますか。G子：右側の耳がよく聞こえる。

<口>

Q29：この人の口からどのようなことを感じますか。G子：口を大きく開けて自分の意見を言っている感じがする。

Q30：この人は、今、何かを言っています。どんなことを言っているのですか。G子：友だち4人に「もっと優しくなろう」と言っている。この人は4人の友だちに優しくして欲しいと思っている。

Q31：この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますか。G子：私も逃げ出したいと思ったことがあったけど、今まで逃げ出したことはない。逃げても何も解決しないよ。あなたなら大丈夫。

(2) 事例2の結果と考察

自画像の全体の表情は、「笑っている」と捉えている。好きな右側の目からは優しさが伝わってくるのを感じ、右側の目が見ている方向には空が見え、未来を見ていることを感じている。左側の目からは「怒っている」気持ちを感じ、無視されて嫌なこと、友だちがいなくなって寂しいこと、悲しいこと、イライラしている現実を見ている感じ。」などのネガティブ感情を一気にまくり建てるように言ってきた。左側の目が見ている方向に見える「ちょっと嫌いな2人」を描いてもらった（Fig 4）。この段階で二人からいじめを受けている可能性が伺えた。好きな右側の眉からは、「優しさ」を感じ、左側の眉からは「何かちょっと怖い感じ、喧嘩が強い感じ。喧嘩は強くなりたくないけど、自分の気持ちは強くなりたいたいと思っている」とネガティブ感情とポジティブ感情が混在していることが伺える。好きな右側の髪の毛からは「楽しい気持ち」を感じ、左側の髪の毛からは、「もやもやした気持ち」を感じている。好きな右側の耳からは、「楽しいことや、色々な良いこと、あなたは明るいね」などのポジティブな声が聞こえてくると感じている。左側の耳からは、母親から「早く寝なさい」と怒られている嫌な気持ちになるネガティブな声が聞こえてくると感じている。ポジティブ感情を感じる右側の耳の方がネガティブ感情を感じる左側の耳より、よく聞こえると感じている。口の部位からは、この人は口を大きく開けて友だち4

人に「もっと優しくなろう」「優しくして欲しい」と言いたいと感じている。友だち関係がうまくいっていないことが、G子が学校を休みたいという思いが強くなってきている原因であることが伺える。「この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますか」に対して、G子は「私も逃げ出したいと思ったことがあったけど、今まで逃げ出したことはない。逃げても何も解決しないよ。あなたなら大丈夫」と自分に言い聞かせるように言っている。このことは、今後自分はどうすればいいのかをG子自ら結論を出したと考えられる。

3. 事例3：不登校中1女子（M子）に対する自画像対面法の実施

主訴：友だちがいじめられているのを見て何もできない自分を責めている。学校に行くのがとても辛い。いま、どうしたら良いのかわからない。

(1) 自画像対面法における構造化されたPDIの経過

自画像描画：M子が15分で描いた自像（Figure 5）

<自画像全体>

Q1：この人はどんな表情をしていますか。M子：悲しい表情をしている。

Q2：それはこの人のどこで感じますか。M子：目で感じる。

<目>

Q3：この人の右側の目と左側の目ではどちらの目が好きですか。

M子：右側の目が好き。

Q4：どうしてこの人の右側の目が好きなんですか。

M子：しょんぼりしていない気がするから。

Q5：この人の右側の目からはどんな気持ちが伝わってきますか。

M子：少し元気な気持ち。

Q6：この人の右側の目はどこを見ているように見えますか。

M子：まっすぐ前を見ている感じがする。

Q7：右側の目が見ているまっすぐ前には何が見えますか。M子：友だちが見える。

Q8*：この人が見ている友だちはどんな表情をしていますか。

M子：悲しい顔をしている。

Q9*：この人が見ている友だちは何名いますか。M子：二人いる。

Q10*：二人の名前はなんと言いますか。M子：T子とK子。

Q11*：では、二人を絵で描いてみてください。M子：Figure 7。

Q12*：今、描いた絵で二人の悲しみはどこで感じますか。M子：目で感じる。

Q13*：二人の中で、誰が一番悲しそうに見えますか。M子：K子。

Q14*：あなたとT子とK子の3名の中では、誰が一番悲しい表情をしているように見えますか。M子：K子，T子，私の順。

Q15：この人の左側の目からどのようなことを感じますか。M子：しょんぼりしている。

Q16：それは、左側の目のどういう所から感じますか。M子：目の瞳から感じる。

Q17：この人の左側の目はどこを見えていますか。M子：正面よりちょっと右側を見ている。

Q18：この人の正面よりちょっと右側の方向に何が見えますか。M子：友だちのT子が二人の男子から「こっち来んな キモーイ」「あっち行け！くさい くさる ゴリラ！」と言われていじめられている場面が見える。

Q19*：それはどんなふうに見えますか。M子：ぼんやりしている感じで見える（応えるまで1



Figure 5 自画像

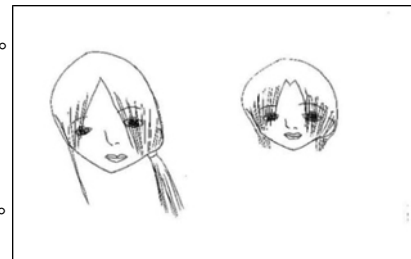


Figure 6 友だちのT子とK子

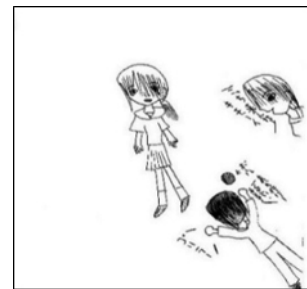


Figure 7 T子がいじめられている場面

分程度の沈黙の時間があり、その間涙ぐむ場面もあった）。

Q20*：友だちがいじめられている場所はどこですか。M子：教室の中。

Q21*：その場面ははっきりと見えますか。M子：はっきり見える。

Q22*：T子がいじめられている場面を絵で描くことはできますか。

M子：できる（Figure 7）。

Q23*：あなたは、いじめられている場面をどこから見ているのですか。M子：廊下から見ている。

Q24*：廊下からT子がいじめられている場面を見ている自分の顔を浮かべることができますか。M子：浮かべることができる。

Q25*：廊下からいじめを見ているこの人を描いてください。

M子：M子が描いた描画（Figure 8）。

Q26*：いじめを見ているこの人は、どういう気持ちで見ていると思いますか。M子：可哀想と言う気持ちで見ている。

Q27*：可哀想と言う気持ち以外にもありますか。M子：どうにかしてあげたいという気持ちはあるけど身体が動かないという感じ。

<眉>

Q28：この人の左側の眉と右側の眉ではどちらが好きですか。M子：右側の眉が好き。

Q29：どうしてこの人の右側の眉が好きなんですか。M子：右側の眉は左側の眉よりあまりしょんぼりしていないから。

Q30：この人の右側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。M子：少しだけ楽しい気持ち。

Q31：この人の左側の眉からどんな気持ちが伝わってきますか。M子：眉が上から斜めになっている感じなので、左側の眉からは悲しい気持ちが伝わってくる。

<髪>

Q32：この人の顔の真ん中から右側の髪の毛と左側の髪の毛ではどちらが好きですか。

M子：左側の髪の毛。

Q33：どうして左側の髪の毛が好きなんですか。M子：特に左耳の辺りの髪の毛が好き。

Q34：左側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。M子：少し楽しいような気持ち。

Q35：この人の右側の髪の毛からどんな気持ちが伝わってきますか。M子：寂しくて泣いている。

Q36：それはどこから特に感じますか。M子：左側の髪の毛で左側の目が覆われているところ。

<耳>

Q37：この人の右側の耳と左側の耳ではどちらが好きですか。M子：左側の耳が好き。

Q38：どうしてこの人の左側の耳が好きなんですか。M子：左側の耳は髪の毛で隠されていない。

Q39：この人の左側の耳からどんな気持ちが伝わってきますか。M子：左側の耳は何か笑っている感じ。

Q40：この人の左側の耳からはどんな声が聞こえてきそうですか。M子：笑い声が聞こえてくる。

Q41：この人の右側の耳はどんな気持ちが伝わってきますか。M子：しょんぼりとしている気持ち。

Q42：この人の右側の耳からはどんな声が聞こえてきそうですか。M子：泣き声が聞こえてくる。

Q43：この人の右側の耳と左側の耳では、どちらの耳がよく聞こえますか。M子：左側の耳。

<口>

Q44：この人の口からどのようなことを感じますか。M子：口が閉じているので、悲しみ、言いたいことが言えずに我慢している感じ。

Q45*：この人はどうして悲しいのですか。M子：目の前にいじめられている人がいるから。

Q46：この人は口を閉じていますが、今、何かを言おうとしています。どんなことを言おうとし



Figure 8 廊下からいじめを見ている自分

ていると思いますか。M子：この人は、「可哀想だからいじめは止めて」と言おうとしている。
Q47：この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますか。M子：いじめを止めてと言うのは勇気がいるよね。

(2) 事例3の結果と考察

M子は自画像の全体的印象を「悲しい表情をしている」と捉えている。特に目の部位からそれを感じている。好きな右側の目からは、少し元気な気持ちが伝わってくるのを感じ、右側の目が見ているまっすぐな方向には、悲しい表情をした2人の友だち(T子とK子)が見えていると述べている。M子が描いた悲しい表情をしたT子とK子の顔の描画(Figure 6)においても、目の部位から悲しみを感じている。好きな右側の目から感じるポジティブ感情は、比較的弱いものであることが考えられる。左側の目からは、「しょんぼりしている」ネガティブ感情を感じている。また、左側の目が見ている方向には、T子が男子2人から「こっち来んな キモーイ」「あっち行け! くさい、くさる、ゴリラ」と言われ、いじめられている場面が見えている(Figure 7)。その後T子は涙ぐみながら沈黙の時間が続いたことから、T子に取ってよっぽど辛いことだったと推察される。T子がいじめられている場面を廊下から見ていたM子(Figure 8)は可哀想だという気持ちで見えていて、どうにかしてあげたいという気持ちはあるが、体が動かないということを感じていることから、M子の葛藤の大きさが伺える。好きな左側の眉からは、「何となく少し楽しい気持ち」を感じ、左側の眉からは、「寂しい、泣いている気持ち」を感じている。好きな左側の耳からは、「笑っている感じ、笑い声が聞こえてくる」と感じている。右側の耳からは、「しょんぼりしている、鳴き声が聞こえてくる」と感じている。ポジティブ感情を感じる左側の耳の方がネガティブ感情を感じる右側の耳より、よく聞こえると感じている。自画像(Figure 5)の口の部位からは、「目の前にいじめられている人がいるので悲しみ感じ、言いたいことが言えずに我慢している」ことを感じている。「この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますか」に対して、M子は「可哀想だから、いじめは止めて」と言おうとしていることを感じている。この人にあなたが今、話しかけるとしたら何と言いますかに対して、M子が「いじめを止めてと言うのは勇気がいるよね。」と答えたのは、自分自身の行動を正当化し納得するようにしていると考えられる。

総合考察

事例1が描画対面法に対する構造化された基本的なPDIの事例で、事例2と事例3は構造化された基本的PDIに補足質問を行った事例である。3事例の自画像対面法におけるPDIに対する返答の概要をまとめたのがTable 2である。

(1) 自画像の4つの部位の左右から感じる感情の比較

事例1のH子は、自画像全体の表情を「笑っている」と感じ、自画像の4つの部位の各々(左右の目、左右の眉、左右の髪、左右の耳)の好きな部位から伝わってくる気持ちは、「頑張りたい」「落ち着いた気持ち」「優しい気持ち」「優しい気持ちの声」のポジティブ感情であることが示された。それに対して、好きではない反対側の各々の部位から伝わってくる気持ちは「何もやる気がしない」「困っている感じ」「むかついている」「怒られて嫌な気持ち」のネガティブ感情であることが示された。

事例2のG子は、自画像全体の表情を「笑っている」と感じ、自画像の4つの部位の各々(左右の目、左右の眉、左右の髪、左右の耳)の好きな部位から伝わってくる気持ちは、「優しさ」「楽しい気持ち」「楽しいこと、良いこと、あなたは明るいねと言う声」のポジティブ感情であった。

Table 2 3事例の自画像対面法におけるPDIの概要

事例1：M子				事例2：G子				事例3：M子			
質問	部位	質問に対する返答	感情	質問	部位	質問に対する返答	感情	質問	部位	質問に対する返答	感情
Q1	全体	笑っている	P	Q1	全体	笑っている	P	Q1	全体	悲しい表情をしている	N
Q2		口角上がっている		Q2		口を大きく開けている		Q2		目	
Q3		好き	P	Q3		好き	P	Q3		好き	P
Q4	右側目	目に力がある		Q4	右側目	丸くなっている		Q4	右側目	しょんぼりしていない気がする	
Q5		頑張りたい	P	Q5		優しさ	P	Q5		少し元気な気持ち	P
Q6		右下を見ている		Q6		斜め上を見ている		Q6		まっすぐ前を見ている	
Q7		何も見えない	N	Q7		空、未来を見ている	P	Q7		友だちが見える	P
Q8	左側目	何もやる気がしない	N	Q8	左側目	怒っている、無視、寂しい、悲しい、イライラしている現実	N	Q8*		悲しい表情をしている	N
Q9		正面下を見ている		Q9		まっすぐ前を見ている		Q9*		2人いる	
Q10		何も見えていない	N	Q10		嫌いな人が見える	N	Q10*		T子、K子	
Q11		好き	P	Q11*	Q10関連補足質問	嫌いな人2名		Q11*		Figure 6	
Q12	右側眉	少し丸くなっているから		Q12*		嫌いな2名の描画を描く		Q12*		目で感じる	
Q13		落ち着いた気持ち	P	Q13*		にらみつけているような目と文句や嫌みを行っているような口が嫌い		Q13*		K子	
Q14	左側眉	困っている感じ	N	Q14	右側眉	好き	P	Q14*		K子、T子、私の順	
Q15		好き	P	Q15		眉が太いから		Q15		しょんぼりしている	N
Q16	左側髪	ピン留めで整えている		Q16		優しさ	P	Q16		目の瞳から感じる	
Q17		優しい気も落ち	P	Q17	左側眉	怖い・喧嘩が強い感じ。でも喧嘩よりも気持ちは強くなりしたい	NP	Q17	左側目	正面よりちょっと右側を見ている	
Q18		髪の毛が多く描かれている	N	Q18	右側髪	好き	P	Q18		T子がいじめられている場面	N
Q19	右側髪	むかついている	N	Q19		すっきりした感じ		Q19*		ぼんやりしている感じで見える	
Q20		雑に描かれている		Q20		楽しい気持ち	N	Q20*		教室の中	
Q21		好き	P	Q21	左側髪	もやもやとした気持ち		Q21*		はっきり見える	
Q22	左側耳	耳が丸みを帯びている		Q22		眉の上の髪の毛	P	Q22*		いじめられている場面も絵で描くことができる	
Q23		優しい気持ちの声	P	Q23		好き		Q23*	Q18に関して補足質問	廊下から見ている	
Q24		何もしなくてもいいから休んで・自分のことを心配している声が聞こえる	N	Q24	右側耳	きれいな形をしている		Q24*		浮かべることができる	
Q25	右側耳	怒られて嫌な気持ち	N	Q25		楽しいこと・良いこと・あなたは明るいねという声	N	Q25*		いじめ場面を描く (Figure 8)	
Q26		母親が早く寝なさいと言っている	P	Q26	左側耳	嫌なことが聞こえてくる	P	Q26*		可哀想という気持ちで見ている	
Q27	よく聞こえる耳	左側の耳	P	Q27				Q27*		どうにかしてあげたいけど身体が動かない	
Q28	口	何かを我慢している		Q28	よく聞こえる耳	右側の耳がよく聞こえる		Q28	右側眉	好き	P
Q29		みんなはいいな。勉強ができて。生活ができて。楽しそう	P	Q29	口	口を大きく開けて自分の意見を言っている	P	Q29		あまりしょんぼりしていない	
Q30	一言	私も同じ気持ちだよ		Q30		友達4人にもっと優しくなろう。		Q30		少しだけ楽しい気持ち	
				Q31	一言	私も逃げ出したいと思ったことがあったけど、今まで逃げ出したことはない。逃げても何も解決しないよ。あなたなら大丈夫。	P	Q31	左側眉	悲しい気持ちが伝わってくる	N
				Q32				Q32	左側髪	好き	P
				Q33				Q33		左側の髪の毛が目や目を覆っていない	
				Q34				Q34		少し楽しいような気持ち	P
				Q35				Q35	右側髪	寂しくて泣いている	N
				Q36				Q36		右側の髪の毛で右側の目が覆われているところ	
				Q37				Q37		好き	P
				Q38	左側耳	耳が髪の毛で隠されていないから		Q38		何か笑っている感じ	P
				Q39				Q39		笑い声が聞こえる	P
				Q40				Q40	右側耳	しょぼんとしている気持ち	N
				Q41				Q41		泣き声が聞こえる	N
				Q42				Q42	よく聞こえる耳	左側の耳	
				Q43				Q43			
				Q44				Q44		悲しみ・言いたいことを我慢している	N
				Q45*	口	目の前にいじめられている人がいるから		Q45*			
				Q46				Q46		可哀想だからいじめは止めて	P
				Q47	一言	いじめを止めてと言うのは 勇気がいるよね		Q47			

註) P：ポジティブ感情
 N：ネガティブ感情
 * のついている番号は補足質問

それに対して、好きではない反対側の各々の部位から伝わってくる気持ちは、「怒っている、無視、寂しい、悲しい、イライラしている現実」のネガティブ感情であることが示された。

事例3のM子は、自画像全体の表情を「悲しい表情をしている」と感じ、自画像の4つの部位の各々（左右の目、左右の眉、左右の髪、左右の耳）の好きな部位から伝わってくる気持ちは、「少し元気な気持ち」「少しだけ楽しい気持ち」「少し楽しいような気持ち」「何か笑っている感じ」と少し曖昧さが伴うポジティブ感情であることが示された。それに対して、好きではない反対側の各々の部位から伝わってくる気持ちは「しょんぼりしている」「悲しい気持ち」「寂しくて泣いている」「しょんぼりとしている」とはっきりとしたネガティブ感情であることが示された。PDIの最初の質問「この人はどのような表情をしていますか」に対して、事例1のH子と事例2のG子は「笑っている」というポジティブな表情を感じているのに対して、事例3のM子は「悲しい」というネガティブな表情を感じているのは、M子の中で、少し曖昧さが伴うポジティブ感情よりもネガティブ感情の方が強いため、自画像全体の表情を「悲しい表情」として捉えたと推察できる。

以上のことより、3事例における自画像対面法のPDI、自画像の4つの部位の各々（左右の目、左右の眉、左右の髪、左右の耳）において、好きな部位からポジティブ感情を感じ、好きではない反対側の部位からはネガティブ感情を感じることを示された。

(2) PDIのネガティブ感情から見えてくるCIの主訴との関連

①事例1のH子の主訴は、「微熱と身体がだるい。学校を休むことが増えてきた。家で勉強しようと思うけど、机に向かうことができない。自分で自分の気持ちが整理できない。」であり、自画像対面法におけるPDIのネガティブ感情「何もやる気がしない」「困っている感じ」「むかついている」「怒られている嫌な気持ち」とほぼ同じ内容である。このことは主訴の深層にあるH子の感情が表出したものであると考えられる。

②事例2のG子の主訴は、「仲間から無視され文句を言われている気がする。学校を休みたい気持ちが強くて、不登校になっていく気がして心配」であった。自画像対面法におけるPDIのネガティブ感情「怒っている、無視、寂しい、悲しい、イライラしている現実」「怖い、喧嘩が強い」「もやもやとした気持ち」「嫌なことが聞こえてくる」と嫌いな2人に関する補足PDIの「睨みつけているような目と文句を言っているような目が嫌い」のネガティブ感情は、G子の主訴の深層にある感情が表出したものであると考えられる。

③事例3のM子の主訴は、「友だちがいじめられているのを見て何もできない自分を責めている。学校に行くのがとても辛い。いま、どうしたら良いのかわからない」であった。自画像対面法における基本的PDIのネガティブ感情「悲しい表情」「しょんぼりしている」「悲しい気持ち」「寂しくて泣いている」「しょんぼりとしている」と嫌いな2人に関する補足PDIの「悲しい表情」「T子がいじめられている場面」「ぼんやりしている（答えるまでに1分間の時間があり涙ぐむ）」「可哀想という気持ちで見ている」「どうにかしたいけど身体が動かない」のネガティブ感情は、M子の主訴の深層にある感情が表出したものであると考えられる。

以上の3事例から、描画対面法における基本的PDIと補足PDIのネガティブ感情は、主訴の深層にあるCIの感情と関連がある可能性が示唆された。ネガティブ感情に関するPDIは、CI自身が自分自身の課題と向き合う上で重要であると考えられる。

(3) 自画像の口の部位

事例1のH子は自画像の口の部位から「何かを我慢している」「みんなは、学校で勉強ができて、普通の学校生活ができて楽しそうでいいな」と言っているように感じている。そして自画像

に対して「私も同じ気持ちだよ」「4人にもっと優しくしよう」と語りかけると述べている。

事例2のG子は自画像の口の部位からは「口を大きく開けて自分の意見を言っている」ように感じ、それに対して、「私も逃げ出したいと思ったことがあったけど、今まで逃げ出したことはない。逃げても何も解決しないよ。あなたなら大丈夫。」と自画像に語りかけると述べている。

事例3のM子は、自画像の口の部位からは「目の前にいじめられている人がいるのに、可哀想だからいじめを止めてと言えなくて我慢している」ように感じている。それに対してM子は自画像に「いじめを止めてと言うのは勇気があるよね」と語りかけている。

以上のことから、3つの事例において他者に対して自分の気持ちを言えない生徒が自画像と対面することによって、自画像を通して語らせることができることが示された。また、CIは今の自分自身とどう向き合えば良いのかを、自画像対面法によって自分自身で解決策を導き出している。これまでの人物描画テストの解釈においては、描画テストに関する知識と経験が必要とされていたが、自画像対面法を用いることによって、描画を学んだことのないスクールカウンセラーや学級担任でもPDIを通して児童生徒を理解できる可能性がある。今後、学校現場における児童生徒理解のための心理アセスメントの一つとして構造化されたPDIを用いた描画対面法は活用できるのではないかと考える。

今後の課題

今後の課題として、構造化された基本的なPDIの内容をさらに検討を行い、事例を増やし、質的研究と同時に信頼性と妥当性をどのようにして担保していけばいいのかを検討する必要がある。

<付記>

倫理的配慮

本論文における3事例とも記述に当たっては個人情報保護の観点から、個人が特定されないように事例の本質に損なわない範囲内で修正を加えてあります。今回の論文作成において、本人及び担任が面談終了後に快諾してくれたことに感謝申し上げます。

引用文献

- 深田尚彦 (1986). 人物画テスト 臨床描画研究 I, 12-32.
- 平田幹夫 (2008). 心理アセスメントとしての自画像対面法の試み -2 事例をとおして - 日本描画テスト・描画療法学会第18回大会抄録集, 52
- 平田幹夫・比嘉紀枝 (2012). 小学生の人物描画における表情分析 - 4つの感情と眉・目・口の描き方パターンとの関係 - 琉球大学教育学部教育実践総合センター紀要, 19, 15-22.
- 文部科学省 (2019). 平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対する調査結果について
- 高橋依子 (2012). 臨床に活かす描画 - 心理テストから心理療法へ - 臨床描画研究, 27, 64.
- 高橋依子 (2007). 描画テストのPDIによるパーソナリティ理解 - PDIからPDDへ - 臨床描画研究, 22, 50-67.
- 高橋依子 (2010). 心理査定実践ハンドブック - 人物画テスト 創元社
- 山田ゆかり・天野寛 (2004). 自画像にみるストレス 名古屋文理大学紀要, 4, 3-11.